

アプリ v.2.6 を使用してエアーボックスをファームウェ ア 3.10.0 にアップデートする(G2)

ストーブのネットワークである Wi-Fi ダイレクト(IHS STOVE_XXXX)に接続するか、家の Wi-Fi ネットワーク を介してストーブに接続すると、アップデートを行うことができます。

家の Wi-Fi ネットワークに接続してアップデートを行うことをお勧めします。エアーボックスをアップデートする前に、ストーブはスタンバイ状態である必要があります。

次の図は、ストーブのネットワーク Wi-Fi ダイレクトでストーブに接続する場合を示しています。

.il 98% 🖩 12.1
Q
0
0

1. メニューをタップする



2. 「information (情報)」をタップする





HWAM SmartControl[™]

 「Airbox version (エアーボックスのバー ジョン)」をタップする



Update to 3.10.0 (3.10.0 ヘアップデート)」
 をタップする



5. アップデートが実行されます。



6. アップデートが完了しました。



これでストーブは Wi-Fi への接続を失います。アップデートの準 備ができると、数分かかりますが、ストーブが自宅の Wi-Fi ネッ トワークに接続されている場合は Wi-Fi 接続が再確立されます。 Wi-Fi ダイレクトを使用している場合は、スマートフォンの Wi-Fi 設定のメニューから、もう一度ストーブのネットワークに接続す る必要があります。ダンパーが動けば、エアーボックスは Wi-F ダ イレクトに接続できる状態になります。





 Wi-Fi ダイレクトで接続すると、エアー ボックスの接続が切れます。



 スマートフォンのWi-Fi設定メニューから「IHS STOVE XXXX」をタップします。



9. メニュー「Information(情報)」に、ファー ムウェア 3.10.0 とアップデートされたアル ゴリズムのバージョンが表示されます。



メニュー「Information (情報)」に Wi-Fi のバージョンを表示する行が追加されました。「Wi-Fi Version (Wi-Fi バージョン)」をタップします。







11. 「Update to 12.3.0(12.3.0 ヘアップデート)」



12. アップデートが実行されます。



 アップデートは完了しました。ストーブは Wi-Fi への接続を一時的に失います。



ストーブはアップデートをインストールします。
 これには 5~10 分ほどかかる可能性があります。



アップデートのインストール中は、しばらくエアーボックスへの接続ができ ませんので5~10分程度お待ちください。その際、青い LED が高速で点 滅します。ストーブがご自宅の Wi-Fi ネットワークに接続されている場合、 アップデートが完了すると、ストーブと Wi-Fi ネットワーク、そしてアプリ が再接続されます。

Wi-Fi ダイレクトをご使用の場合は、再度スマートフォンの Wi-Fi 設定メニ ューから「IHS STOVE XXXX」に接続する必要があります。ダンパーが動 けば、エアーボックスは Wi-Fi ダイレクトに接続できる状態になります。





15. スマートフォンの Wi-Fi 設定メニューで 「IHS STOVE XXXX」を選択します。名称 が変更されていますのでご注意ください。



 メニュー「Information (情報)」で、Wi-Fi が バージョン 12.3.0 にアップグレードされたこ とが表示されます。



もし、「Congratulations, the update was....」と表示されているにも関わらず、実際にアップデートが行われない 場合は、アップデートを開始する前に「algo filesystem(アルゴ ファイルシステム)」を初期化する必要がある 場合があります。「algo filesystem(アルゴ ファイルシステム)」を初期化する前に、2回ほどアップデートを実 行してみてください。これに失敗した場合は、「algo filesystem(アルゴ ファイルシステム)」の初期化を実行し てください。そうすることで、アルゴリズムが削除されます。ファームウェアと Wi-Fi のバージョンをアップデ ートした後、アルゴリズムを再び読み込んでください。

詳しくは、取扱説明書の002「エアーボックスの初期化」をご覧ください。





エアーボックスの初期化

この手順は、エアーボックスに新しいファームウェアまたはアルゴリズムを読み込めない場合に実行します。

エアーボックスを初期化する前に、ストーブはスタンバイ状態である必要があります。エアーボックスを初期化 する前に、エアーボックスのアルゴリズムを必ず書き留めておき、エアーボックスを初期化した後に正しい(同 じ)アルゴリズムが読み込まれるようにすることが大切です。アルゴリズムは、例えば「HW.4600.xxxxx」で示さ れ、「HW.4600」はアルゴリズム固有の識別、「xxxxx」はアルゴリズムのバージョンを示しています。必ず最新バ ージョンに更新してください。





3. 歯車のアイコンを押します。



1. 「Stoves (ストーブ)」を押します。



パスワード:ihsdev2010 を入力し、「Unlock (解除)」
 を押します







5. メニューに戻ると表示される「Debug (デバ ッグ)」を選択します。



 「Format filesystem (ファイルシステムの初期 化)」または「Format algo filesystem (アルゴファ イルシステムの初期化)」を押します。

Debug Phase 4 Room sensor connected: False V1: 1 - 35% - calibration: 14200 V2: 1 - 35% - calibration: 14200 V3: 1 - 35% - calibration: 14600 V3: 1 - 35% - calibration: 13300 FORMAT FILESYSTEM FORMAT ALGO FILESYSTEM FORMAT ALGO FILESYSTEM FIRE NOTIFICATION FIRE NOTIFICATION EIRE NOTIFICATION CLEAN LAMBDA HEATER	•		🕫 🗟 না 100% 🛢 12.37
Phase 4 Room sensor connected: False V1: 1 - 35% - calibration: 14200 V2: 1 - 35% - calibration: 14600 V3: 1 - 35% - calibration: 13300 FORMAT FILESYSTEM FORMAT ALGO FILESYSTEM FORMAT ALGO FILESYSTEM FIRE NOTIFICATION FIRE NOTIFICATION FIRE NOTIFICATION FIRE NOTIFICATION CLEAN LAMBDA HEATER	← Debug		ншам 🤿
FIRE NOTIFICATION FIRE NOTIFICATION 105 CLEAN LAMBDA HEATER	Phase 4 Room sensor c V1: 1 - 35% - са V2: 1 - 35% - са V3: 1 - 35% - са FORMAT AL REMOTE I	onne libra libra libra FILESY GO FILL	cted: False tion: 14200 tion: 14600 tion: 13300 stem system
FIRE NOTIFICATION 10S	FIRE NO	TIFICA	TION
CLEAN LAMBDA HEATER	FIRE NOT	FICATI	ON 10S
	CLEAN LA	MBDA	HEATER

- 「Format filesystem (ファイルシステムの初 期化)」を選択すると、ログファイルが削除さ れます。「Format algo filesystem (アルゴファ イルシステムの初期化)」を選択すると、ログ ファイルとアルゴリズムの両方が削除されま す。初期化をすると、正常に初期化されても 「Failed (失敗しました)」と表示されること があります。
- アルゴリズムの初期化後に警告が表示されれ ば、初期化は成功しています。









HWAM SmartControl[™]

9. 警告が表示されない場合は「Help (ヘルプ)」 を押してください。



 セルフテストで「Configuration(設定)」に「Not passed (失敗)」と表示されれば、アルゴリズ ムの初期化が正常に行われています。

Configuration NOT (PASSED) Temperature Sensor OK 0xygen Sensor OK 1. Valve OK 2. Valve OK 3. Valve OK START SELF TEST	Your IHS wood-burr via a self-test. It is t and mechanical par they should. In orde stove MUST be colo	ing stove can test itself ested that all sensors ts are functioning as r to run a self-test the j.
Temperature Sensor OK Oxygen Sensor OK 1. Valve OK 2. Valve OK 3. Valve OK START SELF TEST	Configuration	
Oxygen Sensor OK 1. Valve OK 2. Valve OK 3. Valve OK START SELF TEST	Temperature Sensor	
1. Valve OK 2. Valve OK 3. Valve OK START SELF TEST	Oxygen Sensor	
2. Valve OK 3. Valve OK START SELF TEST	1. Valve	
3. Valve OK START SELF TEST	2. Valve	
START SELF TEST	3. Valve	
	STAR	T SELF TEST

10. 「Self-test (セルフテスト)」を実行してくだ さい。



エアーボックスを初期化した後に、アプリとストーブとの接続が失われる可能性が大きいでしょう。エアーボックスがスリープ状態になり、何の反応も示さなくなります。エアーボックスを目覚めさせるには、電源プラグを抜いてから再び接続してください。

これで初期化が正常に実行されました。アップデートが可能になります。

アップデート後には、新しいアルゴリズムをエアーボックスに再び読み込む必要があります。メニューの「Algorithms (アルゴリズム)」から行ってください。

アルゴリズムが読み込まれると、アルゴリズムをインストールする間、エアーボックスはネットワークとの接続 を失いますのでご注意ください。

